

問 1. 線維軟骨からなるのはどれか。

1. 関節円板
2. 耳介軟骨
3. 気管軟骨
4. 肋軟骨

問 2. 腓骨頭に停止するのはどれか。

1. 外側広筋
2. 腸脛靱帯
3. 長腓骨筋
4. 大腿二頭筋長頭

問 3. 斜角筋隙を構成しないのはどれか。2 つ

1. 前斜角筋
2. 後斜角筋
3. 鎖骨
4. 第 1 肋骨

問 4. 大腿骨に付着するのはどれか。

1. 半腱様筋
2. 大腿直筋
3. 薄筋
4. 大腿二頭筋

問 5. 足の屈筋支帯の下を通らないのはどれか。

1. 後脛骨筋
2. 長趾屈筋
3. 長母趾屈筋
4. 短腓骨筋

問 6. 正しい組み合わせはどれか。

1. 単層立方上皮 —— 甲状腺の腺上皮
2. 単層円柱上皮 —— 血管上皮
3. 移行上皮 ———— 気道上皮
4. 重層扁平上皮 —— 尿管上皮

問 7. 鞍関節であるのはどれか。

1. 腕橈関節
2. 橈骨手根関節
3. 母指の手根中手関節
4. 下橈尺関節

問 8. 載距突起があるのはどれか。

1. 距骨
2. 踵骨
3. 脛骨
4. 腓骨

問 9. 足を背屈し、内反させるのはどれか。

1. 長腓骨筋
2. 短腓骨筋
3. 前脛骨筋
4. 後脛骨筋

問 10. 胃について正しいのはどれか。

1. 粘膜上皮は単層扁平上皮である。
2. 筋層は 2 層である。
3. 噴門には括約筋が存在する。
4. 角切痕は小弯の幽門側にある。

問 11. 肝臓の血管周囲線維鞘（グリソン鞘）から中心静脈へと注ぐのはどれか。

1. 小葉間動脈
2. 小葉間胆管
3. 肝静脈
4. 肝管

問 12. 甲状腺両葉の後面に位置するのはどれか。

1. 網様体
2. 扁桃体
3. 錐状体
4. 上皮小体

問 13. 運動、感覚、副交感神経線維を併せ持つのはどれか。

1. 動眼神経
2. 三叉神経
3. 外転神経
4. 顔面神経

解答はコチラ



問 14. 有毛細胞があるのはどれか。

1. 蝸牛管
2. 鼓室
3. 鼓室階
4. 耳管

問 15. 細胞膜での受動輸送を担うのはどれか。

1. カルシウムチャネル
2. ナトリウム-カリウムポンプ
3. エクソサイトosis
4. エンドサイトosis

問 16. 血液の pH 緩衝系に関与するのはどれか。

1. グルコース
2. コレステロール
3. 血漿タンパク質
4. アルコール

問 17. 外呼吸で正しいのはどれか。

1. 努力性呼息では外肋間筋が収縮する。
2. 努力性吸息では腹壁筋が収縮する。
3. 吸息のとき胸膜腔内は陰圧である。
4. 呼息のとき肺胞内圧は陰圧である。

問 18. 生体からの放熱を抑制する反応はどれか。

1. ふるえ
2. 発汗
3. 皮膚血管収縮
4. 立毛筋弛緩

問 19. アミン系のホルモンでないのはどれか。

1. トリヨードサイロニン
2. サイロキシン
3. カルシトニン
4. アドレナリン

問 20. コルチゾルの働きで正しいのはどれか。

1. 肝臓でのグリコーゲン合成を促進する。
2. 脳で糖の取り込みを抑制する。
3. 骨格筋で蛋白質合成を促進する。
4. 免疫機能を促進する。

問 21. シナプス伝達について正しいのはどれか。

1. 抑制性シナプスではシナプス後膜で脱分極性変化が生じる。
2. 交感神経節前線維からの伝達物質はノルアドレナリンである。
3. シナプス前ニューロンと後ニューロンの伝達は双方向性である。
4. 軸索の興奮伝導に比べ、シナプス遅延という伝達の遅れが生じる。

問 22. 白筋と比べたときの赤筋の特徴で正しいのはどれか。

1. ミオグロビン含量が少ない。
2. グリコーゲン含有量が多い。
3. ミトコンドリアが多い。
4. 解糖系の能力が高い。

問 23. 前庭器官について誤っているのはどれか。

1. 半規管は回転加速度を感知する。
2. 卵形嚢は直線加速度を感知する。
3. 耳石器の有毛細胞は耳石膜で包まれる。
4. 半規管の有毛細胞は外リンパの移動を感知する。

問 24. 誘発筋電図 H 波と M 波で正しいのはどれか。

1. 閾値は M 波のほうが低い。
2. H 波は I a 群線維が刺激されて発生する。
3. 潜時は H 波の方が短い。
4. M 波は単シナプス反射回路で発生する。

問 25. ホルモンとその作用で正しいのはどれか。

1. セクレチンによる胃酸分泌抑制
2. コレシストキニンによる胃液分泌促進
3. インスリンによる膵酵素分泌促進
4. ガストリンによる唾液分泌促進

問 26. ホルモンで正しいのはどれか。

1. 血液を介して運搬される。
2. 導管を介して分泌される。
3. 情報の大きさは標的細胞の大きさによる。
4. 情報の伝達速度は神経系と同程度である。